

令和 7 年度

学校案内

全国で唯一
私立女子の特別支援学校

✿ 本 科（修業年限 3 年）

✿ 専攻科（修業年限 2 年）



学校法人 明和学園
いずみ高等支援学校

学習即生活・生活即学習

生活するのに必要な知識や技術の育て

本 科

家庭生活及び社会生活に必要な知識や技術・態度の基本的な内容を取り上げ、家庭科と他教科を関連させ、生活に直結する指導を行っています。

[指導の形態別週時数]

指導の形態 学年	領域・教科を合わせた指導						教科別の指導						領域別の指導			時間 総合的な探究の時間
	日常生活の指導	社会生活	家庭		調理実習 買物学習	作業学習	進路学習	国語	数学	音楽	美術	保健体育	特別活動	特別の教科道徳	自立活動	
			手芸・ミシン	家庭一般												
1年	2	1 $\frac{1}{3}$	5	1 $\frac{1}{3}$	1 $\frac{1}{3}$	4	1	1	1	1 $\frac{2}{3}$	1 $\frac{1}{3}$	5	1	通して指導 全教育活動を	2	
2年	2	1	4	1	1 $\frac{1}{2}$	2	5	1	1	1 $\frac{1}{2}$	1	5	1		2	
3年	1 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{1}{2}$	3	1	1 $\frac{1}{2}$	2	7	1	1	1	1	5	1		1 $\frac{1}{2}$	
学習形態	学級別	学級別	学年別	学級別	学級別	学年別	学年別	学年別	学年別	学年別	学年別	学年別	学年別	学級別	学年別	

※「特別の教科道徳」は、全教育活動を通して行う。

(合計週時数—30時間)

※「自立活動」は、個別の指導計画に基づき、全教育活動の中で配慮して行う。

※ 朝会（特活）は毎月第一火曜日とする。この時間は上記週時数には含まれない。

■ 手芸・ミシン



手作りの作品を仕上げていく過程を通して成就感を味わいながら手指の巧緻性と集中力と持久力を育てます。

■ 調理実習



基本的な知識・技術を身に付け日常生活の中で役立つ力を育てます。

■ 家庭一般



衣食住・経済生活等を学習し、実践的な力を育てます。

■ 総合的な探究の時間（伝統にチャレンジ）



本科生縦割のグループ（茶道、華道、和太鼓、チアリーダー、美術、さをり織り、書道、音楽）活動です。

青年期を豊かに

花と緑と温かい心に

包まれた学習環境

専 攻 科（本科・高等部卒業後）

本科 3 年の課程を基盤として専攻科修了後の自立を目指します。平成 22 年度より、職業を清掃、縫製、調理、福祉・介護、農園芸の 5 コース制とし、より一層一人一人の能力、適性や進路に応じた指導を行っています。

[指導の形態別週時数]

指導の形態 学年	領域・教科を合わせた指導										教科別の指導				領域別の指導			時間 総合的な探究の
	日常生活の指導	生 活	家 庭		職 業	進 路 課題学習	音 楽	保 健 体 育	特 別 活 動	特 別 の 教 科 道 徳	自 立 活 動							
			家庭管理	調 理 買物学習														
												調理実習						
1年	1	1	1	1 $\frac{1}{2}$	2	13	2	1	4 $\frac{1}{2}$	1	通して指導	全教育活動を	2					
2年	1	1	1	1 $\frac{1}{2}$	2	13	2	1	4 $\frac{1}{2}$	1			2					
学習形態	学級別	学年別	学級別	学年別	学年別	学年別	コース毎 進路別	学年別	学年合同	学年別	学年合同	学年別	学級別	学級別	通して指導	全教育活動を	グループ 別	

※「特別の教科道徳」は、全教育活動を通して行う。

(合計週時数—30時間)

※「自立活動」は、個別の指導計画に基づき、全教育活動の中で配慮して行う。

※ 朝会（特活）は毎月第一火曜日とする。この時間は上記週時数には含まれない。

職業

■ 清掃コース



ビル清掃の基礎を学び、校内、近隣の公共施設などの清掃活動をしています。

■ 縫製コース（受託作業）



受託品である枕の入れ替え作業や販売製品の製作をしています。

■ 調理コース



お惣菜やお弁当を作って、職員に販売しています。

■ 福祉・介護コース



介護の基礎を校内、特別養護老人ホームで学習しています。

■ 農園芸コース



土を起こし、畑を作り、作物を育てています。育てた作物は保護者や職員に販売しています。

■ 自己研修ゼミ



興味、関心のあることに取り組み、自信を持ち、積極的に生きる態度を育てます。

進 路

本科、専攻科共、卒業後の自立につながる「現場実習」「進路の学習」を大切にしています。宮城県外の入学生についても、地元の支援機関と連絡を密にし、働く生活を目指しています。

就職先

食品製造、サービス業（クリーニング業、清掃業など）、老人介護施設などへの就職の他、福祉的就労（通所施設など）など

進学先

本校専攻科への進学（本科 3 年卒業生）、各種学校、職業能力開発校など



現場実習

家庭科を中心とした女子のみの本科・専攻科

本校の特色

昭和 33 年精神薄弱（現知的障害）女子の父母からの切なる願いにより、明和学園内に洋裁・手芸を主とする職業補導の場として「いづみ学園」が誕生し、昭和 37 年学校法人明和学園いづみ養護学校（女子高等部）として開校しました。（平成 24 年度にいづみ高等支援学校に名称を変更）

女子のみの私立特別支援学校で、本科課程と専攻科課程を設置しています。

学科は普通科であり、教育課程は領域・教科を合わせた指導、特に家庭科を中心に編成し、「学習即生活・生活即学習」を実践しています。

広域入学を受け入れ可能とし、寮を付置し、学寮連携の 24 時間体制のもと、集団生活を通し自立心と生活力をより高める指導を行っています。

目指す生徒像（五実求像）

逞しさをもつ生徒

優しさをもつ生徒

明るさをもつ生徒

清らかさをもつ生徒

働く意欲をもつ生徒

創 立 者



田山彦六先生



田山仁子先生

建 学 の 心

湧く水は 少なくとも 尽きることなく
絶えず清く 湧きいでる いずみのように
障害児への 愛を注ごう



理事長 遠藤正敬



校長 伊藤徳子

明和寮（寄宿舎）

明和寮は仙台市北東部に位置し、学校まで徒歩 10 分～15 分のところにあります。

いづみ高等支援学校の「社会に役立つ人づくり」教育の重要な部門を担い、生活指導を中心とした 24 時間体制のもと、集団生活を通し自立心と生活力を高めることで、将来の社会参加を目指しています。

運営方針

学校経営の方針を踏まえ、将来の社会参加・自立を目指して、寮生一人一人の力や課題を把握し指導に当たる。また、生活環境の整えを心掛け、青年期の女子の生活指導を工夫し指導に当たる。

指導目標

- (1) 自分のことは自分で行おうとする意欲と態度を育てる。
- (2) 自分で考え行動する力、自己表現の力を育てる。
- (3) 友人と協力していく力を育てる。
- (4) 人命尊重を第一とし、主体的に生きる力を育てる。



明和寮の一日（生活の様子）

朝の 日課



6 時起床、布団を畳みます。
居室、廊下の掃除をします。

食事



朝は食べられる量を選ぶセルフサービスです。

帰寮後の 日課



弁当箱は自分で洗って、拭きます。
洗濯は週 2 回、手洗いや洗濯機で洗濯をします。

当番 活動



食事当番
食堂の掃除、メニュー書きを行います。
週番活動
就寝前に戸締りの確認を行います。

行事

4 月



明和寮での生活が始まります。
自己紹介やゲームをして親睦を深めます。

7 月



自治活動コスモス会が中心となってアトラクションを企画します。

12 月



歌を歌い、キャンドルサービスをして楽しい一日を過ごします。

3 月



社会に出る人、進学する人に全員でエールを送ります。

外出

余暇の充実や仲間との親睦を深めるため、外出を計画しています。



うみの杜水族館



仙台城址

令和 8 年度 入 学 案 内

出 願 資 格	[本 科] 主に知的障害がある者で、中学校または特別支援学校・養護学校の中学部卒業（見込み）の者。 [専攻科] 主に知的障害がある者で、特別支援学校、養護学校の高等部卒業（見込み）及びこれに準ずる者。
募 集 定 員	[本 科] 24 人（女子のみ） [専攻科] 12 人（女子のみ）
出 願 方 法	① 願書（所定用紙） ② 生徒資料 ③ 入学検定料 入寮希望者は所定用紙に記入の上、願書と一緒に提出。（郵送可）
受 付 期 間	[本科・専攻科] 令和 7 年 10 月 6 日（月）～10 月 29 日（水） 必着
選 考 日 （保護者同伴）	[本 科] 令和 7 年 11 月 10 日（月）— 国語、数学等と面接 [専攻科] 令和 7 年 11 月 11 日（火）— 国語、数学、適性検査等と面接 ※詳しい日程は、願書受付後、追って通知します。
合 格 発 表	令和 7 年 11 月 18 日（火）
入学手続き	令和 7 年 11 月 21 日（金）～11 月 27 日（木）
経 費	学費（入学金・授業料等）、その他の経費は別紙のとおり。 ※在学する生徒の保護者に対して、家庭の経済状況に応じ、国・県から一部対象経費について就学奨励費が支給されます。 ※生徒に対して高等学校等就学支援金制度等により、授業料の一部または全部が国から県を通じて支給されます（所得制限あり）。



学校法人明和学園

いずみ高等支援学校

〒983-0832 仙台市宮城野区安養寺二丁目 1 番 1 号

TEL (022) 293-7636 (代)

FAX (022) 293-7632

E-mail info@izumi-shien.jp

明和寮（寄宿舎）

〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台六丁目 29 番 5 号

TEL (022) 291-4720 (代)

FAX (022) 291-4731



<http://www.izumi-shien.jp>



GREEN PRINTING JFPI
P-B10004



この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーン
プリンティング認定工場が印刷した環境配慮商品です。用紙はFSC®
認証材および管理原材料から作られている紙を使用しています。